

海外経済

		2018年9月	2018年10月
世界経済		世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、 <u>通商問題の動向</u> 、 <u>金融資本市場の変動の影響</u> 等について留意する必要がある。	世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、 <u>通商問題の動向及び影響</u> 、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、 <u>金融資本市場の変動の影響</u> 等について留意する必要がある。
アメリカ		アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。先行きについては、 <u>着実に回復が続くと見込まれる</u> 。ただし、今後の政策の動向及び影響、 <u>通商問題の動向</u> 、 <u>金融資本市場の変動の影響</u> 等に留意する必要がある。	アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。先行きについては、 <u>着実に回復が続くと見込まれる</u> 。ただし、 <u>通商問題の動向及び影響</u> 、今後の政策の動向及び影響、 <u>金融資本市場の変動の影響</u> 等に留意する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気は持ち直しの動きが続いている。先行きについては、 <u>当面は持ち直しの動きが続くものと見込まれる</u> 。ただし、 <u>通商問題</u> 、 <u>不動産価格</u> 、 <u>過剰債務問題</u> を含む金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。	中国では、景気は持ち直しの動きに <u>足踏みがみられる</u> 。先行きについては、 <u>各種政策効果もあり、持ち直しに向かうと期待される</u> 。ただし、 <u>通商問題の動向及び影響</u> 、 <u>不動産価格</u> 、 <u>過剰債務問題</u> を含む金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。
	その他アジア	韓国では、景気は緩やかに回復している。台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気は緩やかに回復している。インドでは、景気は回復している。	韓国では、景気は緩やかに回復している。台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気は緩やかに回復している。インドでは、景気は回復している。
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、 <u>緩やかな回復が続くことが期待される</u> 。ただし、 <u>地政学的リスクの影響</u> 、 <u>政策に関する不確実性の影響</u> 等に留意する必要がある。	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、 <u>緩やかな回復が続くことが期待される</u> 。ただし、 <u>政策に関する不確実性の影響</u> 、 <u>通商問題の動向</u> が世界経済に与える影響等に留意する必要がある。
	英国	英国では、景気回復は緩やかになっている。先行きについては、 <u>E U 離脱問題に伴う不透明感による影響から、回復がさらに緩やかになることが見込まれる</u> 。	英国では、景気回復は緩やかになっている。先行きについては、 <u>E U 離脱問題に伴う不透明感による影響から、回復がさらに緩やかになることが見込まれる</u> 。

(注) 下線部は先月から変更した部分。